

四十雀平なり甘く氣力まし身をかるくして足を強す 四十雀五疳に藥勞を去氣のおもきはなを藥なり

〔夫木和歌抄四十唐〕十題百首

あさまだき四十からめぞた、くなる冬ごもりせるむしのすみかを

寂蓮法師

〔武江産物志〕山鳥類 白頰鳥上野、ひがら有、

〔大和本草十五〕五十ガラ 四十ガラノ類也腹白背ウス青シ、

〔喚子鳥下〕粒餌小鳥の分 何にても水を入

五十柄 八十がらとも、さかつほう共、さかほ共、木れずみ共いふ、 点がひ

右同断〇くるみ、点のごま、花のみ、何れも水入、すり点は生、点八分、粉壹匁、あなみ入、

大きな山がらにて、かしらより尾までうすねすみ色にて、のどよりはら白し、此鳥は少し大きな籠に、ぼくなど入、へうたんを釣かふべし、方々へかるくつたひまはり、籠の内おもしろき鳥なり、囀りよし、近國にまれなり、へうたんにとまる、

〔武江産物志〕山鳥類 五十から 稀なり

〔瑤囊抄〕鳥類字 鵲コガラ

〔書言字考節用集五〕氣形コガラ 未詳 小陵鳥木

〔本朝食鑑六〕禽 小雀

訓古加良、或號小陵鳥、名義未詳、狀似山雀而小、頭黑頸頰白如圓紋、背腹白翅尾黑、聲滑多囀、身輕上下、繞枝度樹、隔葉難見、其味不佳、

〔喚子鳥上〕小がら 点がひ 生点壹匁、あなみ入、粉壹匁、くるみ入、

大きな四十からに小ぶり、毛色かしら黒く、せはねすみにてはら白し、かこの内四十からにたり、さゑづり少しあり、冬出る、近國にはまれなり、

小雀

五十雀